

磐城時報

日刊
昭和十一年十一月二十日
印刷所 磐城時報社
印刷部 磐城時報社
電話 磐城時報社
代印部 磐城時報社
代刷部 磐城時報社
代刷部 磐城時報社
代刷部 磐城時報社

江名港の浚渫

一二月末には完了

一萬二千圓で認可

江名漁港は土砂が流れ込んだのを附議した
で浚渫すべく昨秋港口の假閉
を行つたが十月中激浪のため
崩壊したので浚渫船で土砂を取
り除く事に設計を變更しその旨
認可を申請中の處十日附で認可
されたので近く浚渫に着手し二
月末まで工事を終える筈である
が工費は一萬二千圓で浚渫場所
は千九百平方メートルである。

平町區長會

附議事項

- ▲納税思想涵養に關する件
- ▲給水工事施行に關する件
- ▲毎戸標札掲揚の件
- ▲道路溝渠堤塘敷に隣接し家屋を築造の場合に關する件
- ▲婦女の身賣防止並少年の就職に關する件
- ▲青年訓練所後援會々費に關する件
- ▲寄留児童に關する件
- ▲就學兒童に關する件
- ▲貧困者調査に關する件
- ▲貧困者救済に關する件
- ▲貧困者無料給付に關する件
- ▲貧困者調査に關する件
- ▲貧困者救済に關する件
- ▲貧困者無料給付に關する件

理髮組合役員

結髮部長は矢内氏

横山署長が功勞者として指名

平警察署管内理髮業組合總會は
昨報の如く十日午前十時から平
警察署會議室に開き支部長に横
山署長を推し、支部長の指名
で役員を左の如く決定した
△副支部長兼會計加藤卯之吉
（平） 矢内シゲ（平） 本田
（湯本）
△相模役石崎幸一（平） 野崎
太郎（湯本）

平紹介所

十二月成績

平職業紹介所十二月中の成績を
見ると求人男八十一名、女子二
名、合計八十三名、合計千三百十名、
一般から當然の事と言はれてる
求職男百十名、女十二名、計百
一十二名、矢内氏は昭和六年以
來組合員受給者の資格證明書下
附の手男八十二名、女四名、計
八十六名、非常に繁忙を極めた。
三年間副支部長として一点の過
失なく勤めて来た人で殊に同氏は
山形縣その他凶作地から炭礦
が副支部長に就任して以來は從
業員を當て込んで来たものであ
る。

平町區長會に於ける

青沼町長の挨拶

昭和十年度は幾多計畫施設を要し
すべき事項多く事業の種別方法
等に關しては目下關係主管に於
て夫々調査の上豫算の編成中に
在り、然れども各町の御盡力に
俟つべき、財源の抽出に乏し、果
して其計に以て常に忌憚なき見
識を達成し得るや否や、而して
心する所あり、而して町に於て
の發展膨張は自然の趨勢にして
之に對するの計劃なかるべから
ず、然れども都市の膨張は往後
に於て負擔が之に伴はざるを希
望いたす。町村自
治の要諦は制度法規の運用と自
治の精神の普及と保護共助の實
績にあるを以て施設事業の緩急
を考慮し比較検討し可成緊縮節
約を念とし町財政の實際と相俟
て其均衡を圖り萬全の方策に進
むべしと考へて居ります。

逃走犯人を密告

四倉署で表彰

双葉郡久之濱町北町小出喜平
氏は昨年九月十三日宮城縣亶
郡亶理村大字山寺生れ渡邊今朝
治（二〇）が宮城縣亶理村山下
在巡查に捕はれ亶理署に護送送
中巡查を突き飛ばして逃走し本
縣双葉郡久之濱町北町小出方に
至り自轉車一臺を賣らうとした
のを小出氏は舉動不審と睨み久
之濱町駐在所に密告したので犯
人は直ちに捕はれたが小出氏は
其の功に依り此程縣刑事協會四
倉支部長より感謝状を贈られた。

藥業總會

役員改選

縣藥業協會石城支部總會は十五
日午後二時から平警察署會議室
に開き昭和八年年度決算、事業報
告、支部長以下役員縣代議員改
選の後私設藥品巡視制度制定の
件、を協議し終つて縣中田高橋
技師の改正法規に關する講演が
あり午後五時から谷口樓で新
年宴會を開催する筈である。

小學兒童に

齒科醫奉仕

口腔衛生の完壁を期すべく平町
篠山第一、津田第二、赤津第三
の各小學校長は平町の齒科醫
會對し診療代の低減方を懇懇
方中のごころの程同會でも快
く承諾され、

姉を保證人に仕立て

高利貸を誤魔化す

内郷村無職竹田武夫（三四）は昨
年三月同村字宮の質屋竹田かつ
（四〇）を保證人に仕立て同郡草
野村金貨業相川とら（五一）から
四百七十圓を借りつけたといふ
のがかつが持つてゐる小金に目
をつけ武夫と相川が共謀してえい
加減な証文を作つたものと判明
した。

酌婦に抱かれた

免許がとれぬ

好間飲食店鈴木スナ（四五）は福
島市田中二一伊川作次郎（三三）
同（三三）の夫婦を四百五十
圓の前借詐欺で平署に告訴した
が、是は昭和十八日湯本町の人事
周旋業高木喜（三五）の世話でつ

るを抱える事とし前借金を支拂
つたが夫の作次郎が言を左右に
して承諾書をよこさぬので酌婦
の免許が取れず毎日遊んで日食
ひされてゐると言ふので訴えた
ものである。

二毛作授與式

平町役

場では十三日午後一時から二毛
作品評會授與式を舉行。尚
ほ平農業倉庫では同日午後四時
から同倉庫内で總會を開く。

巡回診療日割

恩賜

醫療救済の巡回診療日割は左の
如く決定發表された。
十四日鹿島、十五日川前、十
六日永戸、十七日箕輪、十八
日荷路夫、十九日貝泊、二十
日石住。

四倉徴兵適齡者

四倉町役場調査に依る昭和十年

度の徴兵適齡者は六十六名であ
る。

醫師會總會

石城郡

醫師會總會は十三日午後一時か
ら常盤銀行支店樓上に開き終つ
て新年宴會を開催す。

四倉署寒稽古

四倉

警察署では来る二十日より十日
間毎日午後二時から一時間寒稽
古を行なふが一般の参加を歡迎
する。

木炭指導員會

三

郡木炭同業組合では十四日支部
切らしの
水野藥局
平一電六九九

幸ひにも
皆々様より御好評を
頂いて居る……大塚の靴

初春一大飛躍……特賣

弊店の靴は全部自家製放下り靴やキカイ靴と
チガイ安心得る新型と堅牢と自慢の製法で有
ります。

- ◎學生靴 短靴 五、〇〇均一
上編靴 六、〇〇均一
- ◎紳士靴 ……七、〇〇均一
各種

新製品新案内
舶來ボツクスカーフ 短靴 九、〇〇
編上靴 一〇、〇〇
全部惣草裏、先エナメル飾り
ボタン靴、美錠靴共同値段
右は注文、出來合品共同値段の事

御用は **大塚製靴部**
平町田町
電話七十七番

電話新設披露

此度四倉電話百二十二番を新設致しました
何卒御用命下さい。

- ◎神経痛ノ妙藥 大浦村上仁井田
- ◎治痛散本舖 早川藥局

藥劑士 早川雅衛
電話(四倉)百二十二番

鳥料理 平町田町
水たき 魚清
うなぎ 魚清
仕出し 魚清

電話四二四番

内科 小兒科
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話四七番

家庭浴劑 和尊泉

一、治療に効力偉大保養的に心身爽快となる
一、小兒の發育を健全ならしむる資料となる
一、血液の循環を良くし新陳代謝を旺盛にする
一、連浴すれば體質改造健康増進す
一、強力なる殺菌防腐消毒の作用を有す

◎主治効能
神經痛、リウマチス、關節炎、肩ノ凝リ、胃腸病、神經衰弱、激務ノ疲勞、手足筋ノ疼痛、腰痛、打撲傷、婦人病、血ノ道、コシケ、冷ハ性、癩小兒、胎毒、皮膚病、創傷、痔疾、淋病、疝氣、寸白、凍傷、田虫、水虫、いんきん、しつ、ひせん、あせも、わきが、吹出物、生來虛弱、動脈硬化症、感冒、病後ノ衰弱等に偉効あり
又傳染性諸病の豫防に用ゆ、赤ん坊のうぶ湯に用てよし
▼定價 金貳拾錢より貳圓迄

平町四丁目(電話一四四番)
和尊泉製造發賣元 **小野屋藥局**

理髮 **東京**

平町三丁目警察署通り

内科

平南町(電二四三番)
川井内科診療所
川井安子

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
(入院のお需めに應ず)
自炊の便あり

自動車ノ御用ナラ
何デモ御仰セ付願
ヒマス

昭和三ヶ

電話 三三三
三四四
〇三三番

一、充實セルタクシー部
一、高級大型團體遊覽車
一、乗合 學問、江名、中之
作方面 小名濱直通
靈峯關御井嶽

一、貨物一般運送

店主が店員を
連れて行かれ

正シキ	食	堂
正シキ	喫	茶
正シキ	酒	場

平・田町
レストランサロン
電三五二

徒弟數名
至急募集
委細面談

加納活版所

外科 一般外科 内臟外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院

安齊外科醫院
電話四七五

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

耳鼻咽喉科専門

病室完備
自炊ノ便アリ

平町(電六九一)
山内醫院
醫學士 山内亨吉

診療科目

- 一、齒科 一般
- 一、補綴科 保存
- 一、矯正科 矯正
- 一、小兒齒科 小兒
- 一、齒槽膿漏科 齒槽膿漏
- 一、口腔外科 口腔外科
- 一、レントゲン科 レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
醫學士 西川 誠

平町田町(松月堂向)
電話五〇九番